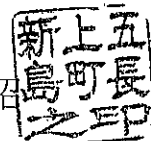




19新上土第 46号
平成19年4月19日

国土交通省道路局長 様

新上五島町長 井上俊昭



中期計画に対する市町村長の意見書の提出について

標記について別添のとおり、提出しますのでよろしくお願ひします。

意見書

◎中期的な計画の作成にあたって

公共事業費が削減されていく中、昨年12月8日道路整備の根幹をなす道路特定財源の見直しが閣議決定され、一般財源化への動きが加速されたことは、地方の行政をあずかるものにとって、将来に禍根を残す暴挙と言わざるを得ません。

道路は、国民生活の向上、とりわけ経済・社会の発展にとって欠くことのできない最も基本的なインフラであります。

都市と地方の基盤整備の状況については、依然として比較にならないほど地方は遅れており、その格差解消のためにも道路を基本とする整備は緊急不可欠の課題となっています。

本町は、九州の西部に位置し、長崎市より西方海上約100キロにある離島で、平地は極端に少なく地理的・地勢的にも大きなハンディキャップを背負っています。このような状況の中、基盤整備は依然として立ち後れ、道路の整備促進なくして、このような地方とりわけ離島の振興・発展はあり得ません。

今回の見直しに対し、国土交通省は具体策として、道路整備に対するニーズを踏まえ、その必要性を具体的に精査し、引き続き、重点化、効率化を進めつつ、真に必要な道路整備は計画的に進めることとし、19年中に、今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成することとなりましたが、この計画策定については、特に次の3点について計画に盛り込んでいただきたいと思えます。

- 都市部と地方部の地域間格差の是正
- 地方の活性化や自立に必要な地域幹線道路の整備
- 地域のニーズにマッチした道路事業の採択と既存ストックの維持管理

1. 都市部と地方部の地域間格差の是正について

都市と地方の地域間格差は、インフラ・文化施設・医療面など、どれをとっても、離島はあらゆる面で比較にならないほど立ち後れ

ています。また、市町村合併による更なる格差が周辺部の集落に、拍車をかけています。

公共交通機関（バス・地下鉄・新幹線・空港・港湾など）の整備状況の格差は言うに及ばず歴然としています。地方はこれらの恩恵が得られないため、一人一人の移動にかかるコストは高負担を強いられています。

このようなことから、地方の自家用車の保有率は都市部に比べ必然的に高くなっています。当然、揮発油税・自動車重量税といった税負担割合も都市部に比べ地方が高くなっています。

中期計画の策定に当たっては地方の実情を調査し、理解していただき、都市と地方の地域間格差の是正に十分配慮した計画としていただきたいと思います。

2. 地方の活性化や自立に必要な地域幹線道路の整備

近年、地方では市町村合併が急激に進み、この流れの中で、本町も平成16年8月に5町が合併しました。現在、自立への道を真剣に模索し取り組んでいます。しかし、その一方で、三位一体の改革など行政の改革は地方へ結果として、新たな財政的負担をもたらす不安要因の一つとなっています。

また、失業・高齢化など過疎化による人口減少が本町にとって深刻な問題となっています。

こういった問題の解決のため、各方面で知恵を出し合い努力しているものの、本町の抱える地理、地形的問題、また構造的問題もはらみ、一朝一夕には進まないのも事実であります。

自立したまちづくりのためには、まず第一に基盤となる道路整備が不可欠であります。町の中心と周辺部の連絡、散在する集落間の連絡、各施設間相互の連絡、緊急時への対応など、基幹道路の整備強化が喫緊の課題となっています。同時に地場産業の育成、観光施設等の充実も図っていかねばなりません。

離島が自立し発展するためには、どうしても、本土との格差を無視することはできません。このハンディキャップを無くし、同じ土俵に立ち、競争力をつけることこそが自立し、生き残るための特効薬であり、強く求められています。

本町では、第一次産業である水産業の振興・育成に町の将来をかけた力を入れています。しかしながら、消費地、とりわけ本土への輸

送には多額の費用と時間を要し、離島であるが故に他にない厳しい負担を迫られています。このハンディキャップを取り除き競争力をつけるためには、国の責任において『海上の国道化』を図り、輸送時間の短縮、輸送コストの抜本的改善が必要不可欠であります。

計画の策定にあたっては特段の配慮を是非お願いいたします。

3. 地域のニーズにマッチした道路事業の採択と既存ストックの維持管理

本町は離島ということもあり地形的に平坦地が少なく、人家の殆どは海岸線沿の入江に集落を形成し、集落数は比較的多く、広範に散在しています。

島を縦断する基幹的国道の整備はある程度進んでいるものの、それらに連絡するアクセス道路の整備が極端に遅れています。

そこでお願いしたいのは、地域・住民のニーズにマッチした事業展開が出来る弾力的な補助採択基準の見直しをすることです。言わば、ローカルルールを適用し、地域・住民が真に必要なとしているものを効果的・効率的に実施することのできる補助事業としてのあり方であります。

特に、本町のような小さな集落が散在している地域にあっては、これまでの補助基準で実施した場合、効率性を欠き、地域・住民のニーズにスピーディーに対応することができません。

地域・住民にとって、痒いところに効率的、効果的に手の届く事業を進めることにより地域を活性化して、自立できるまちづくりをめざします。

既存ストックの維持管理についても、抜本的補助採択基準の見直しを行い財源の乏しい地方においても、十分な維持管理ができるよう特段の配慮をお願いいたします。

平成19年4月19日

国土交通省道路局長 様

長崎県南松浦郡新上五島町
町長 井上俊昭

